

第03号 | 2013年3月25日発行

## 社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験合格者発表！ 今年も生活支援学専攻の学生は健闘しました！！

さる3月15日に第25回社会福祉士国家試験と第15回精神保健福祉士国家試験の合格者の発表がありました。

全国の受験者と合格者、合格率はそれぞれ以下の通りでした。

	受験者	合格者	合格率
社会福祉士	42,841人	8,058人	18.8%
精神保健福祉士	7,144人	4,062人	56.9%



社会福祉士国家試験の合格率は、例年2割台と低いのですが、本年は18.8%とはじめて1割台となり、5人に4人は不合格となるという難関でした。

その中で、生活支援学専攻の学生は、受験者総数84名中36名が合格し、**合格率42.9%**と健闘しました。特に、介護福祉士の養成コースに属している学生は54.2%が合格し、4月からは二つの資格を持って現場に巣立っていくことになりました。

また、精神保健福祉士には6名が合格し、**合格率は66.7%**でした。中に、社会福祉士と併せて合格した学生も2名います。そのうちの一人である越後谷政幸君は、ダブル合格の秘訣を「試験勉強と思わず楽しむ工夫をしたのがよかった」と言います。「直前には共通科目を中心に問題集やワークブックを復習する一方で、前に読んだ社会学入門や法学入門、初めての精神医学など簡単に読み通せる本を読むなど、変化をつけて勉強した」そうです。

国家試験は合格すること自体が目標ではなく、資格を必要とされる福祉の分野で働くという入学時の夢を叶えるためのステップです。合格者の努力をたたえるとともに、さらにそれぞれが精進し、福祉専門職として現場で腕を磨いてほしいと思います。

また、おそらくは紙一重で不合格となった学生は、今回は本当に残念でしたが、来年の合格を目指して頑張ってください。

そして、このニュースレターを読んでいる福祉に関心を寄せる高校生の皆さんの中から、先輩の後に続こうという意欲あふれる人がたくさん現れることを期待しています。  
(白石弘巳)



(\*写真は国家試験のための学習室です。様々な参考書がそろっています。)